



Weekly Report



クラブ・テーマ 「時流にあわせた変化と発展」

会長 小田光司 例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日 点鐘 12:30～13:30
幹事 田中芳明 事務所：さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681
会長E 小林利郎 http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

小田光司年度 第23回 通算2594例会 平成29年1月19日

会長の時間 第54代会長 小田光司

今日は職業奉仕の卓話をさせていただくということで、地区職業奉仕部門職業奉仕委員会の山内委員長にお越しいただいております。お忙しいところありがとうございます。



職業奉仕というのは、ロータリーの看板となっていることのひとつですが、自分が自分の職業に対してどれ程の高潔な倫理観をもって行っているのか？ということ常日頃から自分自身に問うことが大切なのかなと思います。

ロータリーの理念に沿って会社を経営して行くことは、自社にとっても、地域社会にとってもとても大切で有意義なことになります。またそのことが自社とロータリーの広報活動に繋がることになると考えます。

職業奉仕ということ、それぞれ違った職業をもった人たちに説明するのはとても難しいことだと思いますが、本日の卓話で自分の職業に活かせる何らかのヒントを掴んでいただきたいと思います。

それでは本日も勉強させていただきます。よろしくお願いいたします。

幹事報告 幹事 田中芳明

- 地区青少年奉仕部門より、インターアクト日韓青少年交換事業の訪日学生の名簿及び日程表が届いております。
- ハイライトよねやま 202号が公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より届きました。



- 2016年11月27日JPタワーホール（東京）において開催されました「ロータリー財団100周年記念シンポジウム」についての朝日新聞記事をご覧ください。
- 大宮北東ロータリークラブより12月の会報が届きましたのでご回覧下さい。
- NPO法人かものはしプロジェクト（おもにカンボジアやインドで人身売買阻止や就業支援等を行っている団体）より、例会での卓話について案内が届いております。

お客様紹介



第4Gガバナー補佐
清水伸洋 様（大宮東）



地区職業奉仕委員長
山内一浩 様（浦和）



地区職業奉仕委員
佐藤志郎 様（浦和南）



地区職業奉仕委員
黒白秀之 様（大宮南）

委員会報告

奉仕委員長 増岡昌行

- 日韓青少年交換について、訪日学生が決定しました。3名受入予定です。
- 昨日会長幹事とともに岩槻高校を訪問し、3月に訪韓希望の学生とその保護者との面談をして参りました。



卓話

『ロータリーにおける職業奉仕について』

第2770地区職業奉仕委員会
委員長 山内一浩様

「職業奉仕」、これほどわかった様で、わかりにくいものはないと思っています。なぜ職業が、奉仕なのか、利益追求・金儲けの職業が、人助けの奉仕になるという考えは、ロータリー独特のものです。一般的に商取引に於いては利益追求に励めば励むほど、相手の損がかさむことになります。それでは奉仕にならないではないかと疑問が生まれます。



どう考えればよいのでしょうか。
 相手は喜び、それを見て自分も喜ぶ、これをロータリーでは職業の質を高める職業奉仕といわれています。
 つまり、経済価値の尺度だけではなく、精神的な価値も重要といわれております。

「客も良かれ・己も良かれ・客は己よりちょっと良かれ」これが職業奉仕の真髄だそうです。

私達は、始終誤りを犯し、反省して正し、それを繰り返して少しずつ品位を高めていきます。その一助としてロータリーは4つのテストを提示しており、4つのテストの心掛けを実践して、あらためて理解を深めることが出来ればと思いません。

100年以上の豊かな歴史

世界中にクラブをもつロータリーの今（現在・世界に34,000クラブ）があるのは、変わりゆく世界のニーズに応じてきた奉仕の歴史があるからです。

世界大戦や地域紛争など国際社会が不安で包まれたときも、ロータリーは信念を持ちつづけて活動し、国連の創設にも大きくかかわりました。

「ロータリーが私たちにとって何を意味するにせよ、世界は、その業績によってロータリーを知るのです」

ロータリー創立の動機

無秩序な自由競争。事業家につきまとう孤独感と疎外感。いつ敗者になるかという恐怖感。そんな街の中で、心から信頼し、語り合える友人がいたら、どんなに素晴らしいことだろう。

「商売に情けは無用。商売と友情は成立しない。」荒廃したシカゴでは自己保全こそが第一でした。

シカゴ・ロータリークラブ

1905年、弁護士：ポール・ハリス（創立者）、石炭商：シルベスター・シール（初代会長）、鉱山技師：ガスターバス・ロア、洋服生地商：ハイラム・ショーレの四人で設立。

当初、シカゴ・ロータリークラブの定款は、「1 会員の職業上の利益の増進」「2 親交と社交クラブに普通付帯する望ましい事柄の増進」というわずか2行で、奉仕の概念は無く、事業の発展と親睦を目的として創立されました。（1905～1912年）

ポール・ハリスの言葉

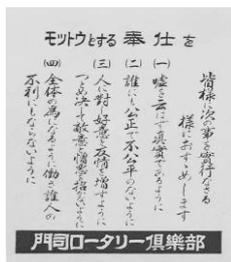
「お互いの職業を利用し合うことは会員同士の親睦と相互扶助に役立つ。会員は寛容で思いやりと友情の精神に溢れた人でなければならない。」

「寛容」の心から始まったロータリー運動。宗教、人種、諸々の異なる言動、異なる行動に対する寛大な心。

シカゴRCは市民団体の代表を集め連合公衆便所建設委員会を設立し、シカゴ醸造組合と百貨店組合の妨害を受けつつ、1909年、市役所と公立図書館の横に二つの公衆便所を設置。これが最初の奉仕事業になります。

四つのテスト

ハーバート・テラー（1954年度RI会長）が倒産寸前の調理器具メーカー再建のために考え、実践したスローガン。1954年にその版權をRIに寄贈。この四つのテストは1954年日本全国



から集まった70数件の応募の中から、東京ロータリークラブ・本田親男氏による翻訳が採択され、広まりました。

ロータリーの標語

第1標語 Service Above Self [超我の奉仕]

第2標語 One Profits most who serves best.
 [最もよく奉仕する者、最も多く報いられる]

これらの奉仕理念を学びながら、奉仕の心を育み、自分自身を磨き、世の為、人のために国際貢献、社会貢献して行動していきます。

すなわち、「入りて学び、出でて奉仕せよ。」

Enter to learn. Go forth to serve.

ロータリーの生みの親である、ポール・ハリスの言葉。

「世界は絶えず変化しています。私たちはこの変化する世界とともに変わっていく心構えがなければなりません。ロータリー物語は、繰り返し、繰り返し、書き直す必要があるでしょう。」



スマイルBOXより

ピジター

第2770地区職業奉仕委員会 委員長 山内一浩 様（浦和）
 第2770地区職業奉仕委員会 委員 佐藤志郎 様（浦和南）
 第2770地区職業奉仕委員会 委員 黒臼秀之 様（大宮南）
 「本日はお世話になります。よろしくお願いいたします。」

メンバー（50音順）

遠藤隆雄 小田光司 菊地 廣 小宮勝男 鈴木 隆
 田中芳明 田畑寛樹 津多一幸 出山知宏 中村 正
 原田晃博 増岡昌行

✿ たくさんのご芳志ありがとうございました ✿

スマイル報告	
本日のスマイル合計	20,000円
年間累計額	496,000円

出席報告				
会員数	出席数	免除者	MU	出席率
24	12	1	3	66.67